



医療連携推進のためのソリューション 第一弾

GE ヘルスケア・ジャパン、新たな循環器部門向け統合ソリューションを発売
循環器領域の診療に必要な患者情報・画像・検査情報・解析データなどを一元管理
～ 多様なデータの統合で、増加する循環器疾患の診療の質や検査効率の向上に貢献～

医療課題の解決に取り組むヘルスケアカンパニー、GE ヘルスケア・ジャパン株式会社(本社:東京都日野市、社長:川上潤)は本日 2 月 15 日(金)、循環器部門向けの統合ソリューション「**Centricity Cardio Enterprise**(セントリシティ・カーディオ・エンタープライズ:CCE)」を中小規模医療機関の循環器部門や循環器専門病院を主対象に発売、循環器領域向けの医療 IT ビジネスを強化します。

Centricity Cardio Enterprise は循環器部門向け統合データマネージメントシステム「**Centricity Cardio Workflow**(セントリシティ・カーディオ・ワークフロー:CCW)」と、循環器領域専用画像解析ビューワー「**Centricity Cardio Imaging**(セントリシティ・カーディオ・イメージング:CCI)」の 2 製品を組み合わせた統合ソリューション。院内のシステムや医療機器とオンラインで接続し、心臓や血管といった循環器領域の診断・治療に必要な患者情報、各種画像データ、検査情報や検査レポート、解析データなどを一元的に集約。希望する情報をいつでも参照できるようにしたほか、レポートの自動作成や統計データの抽出機能を搭載し、循環器部門全体の業務フローの効率化を支援します。

現行の循環器向けシステムではレポート作成や画像参照などの機能に特化したものが主流ですが、当社は画像診断装置から生体情報モニタ、ヘルスケア IT まで幅広い分野を手がける強みを駆使し、このほどオンラインによる循環器データの一元管理機能を有した統合ソリューションの最新版を開発しました。

現在の循環器部門が抱える課題

循環器疾患は、狭心症や心筋梗塞をはじめとする心臓疾患、高血圧症や大動脈瘤といった血管疾患など多岐にわたり、超高齢社会の到来に伴ってその患者数も年々増加しています。命にかかわることも多い循環器疾患では一人ひとりの患者さんによりの確な診療を施すために、救急や外来、病棟など様々な環境下で、CT(コンピューター断層撮影装置)やアンギオ(血管撮影)装置、超音波診断装置、心電計など複数部門にわたる医療機器を使用して、長期的に診療するのが主流となっています。

ただ循環器部門ではこれまで、放射線科向けの RIS(放射線科情報システム)のような部門管理システムがなく、患者レポートを作成する際、検査・処置室や医療機器ごとに保存・管理されている画像や検査・解析データ、波形データ、数値データなどを個別に収集しなければならず、データ収集や検査データの入力に時間が取られるケースもありました。また、診断装置の画像データや心電計の波形データ、計測数値データをそれぞれ別端末で参照する必要があったため、業務が煩雑になる点や他の医師・コメディカルスタッフと情報が共有しにくい点が課題となっていました。

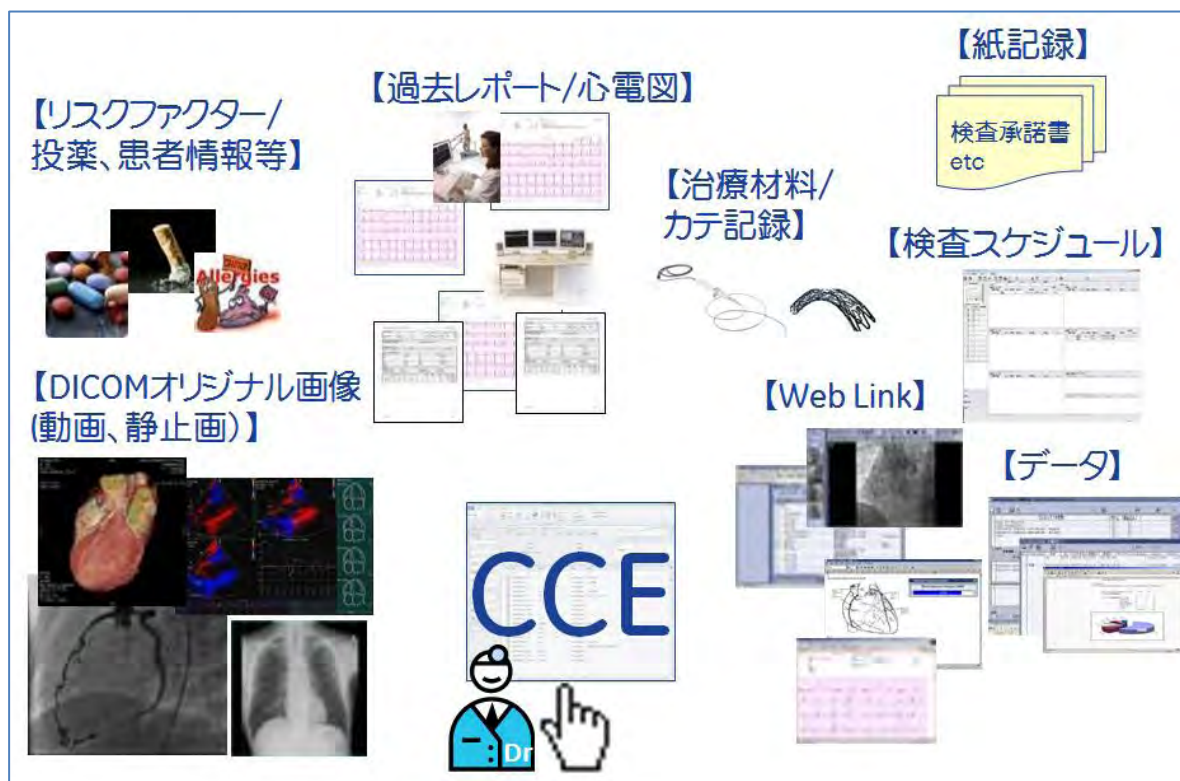
画像・検査・解析データの一元的な管理を実現し、業務効率改善や診療の質向上に貢献

循環器部門で抱えるこれらの課題を背景に、循環器領域の診断・治療に必要な画像データや検査情報、解析データ、検査依頼などを一元的に集約・管理し、いつでも参照できるようにしたのが **Centricity Cardio Enterprise** です。ネットワーク化によるデータの一元化に伴い、各種画像や検査、解析データなどの入手や参照も容易になり、レポートの作成時間が短縮されるほか、他の医師やコメディカルスタッフとの情報共有も迅速化されます。

臨床的には、統合された情報に基づく診療の質のアップや患者ケアの充実につながると見込まれているほか、撮影画像や検査結果を表示しながら患者さんとコミュニケーションできるようになるため、患者さんの安心感の向上に貢献すると期待されています。

Centricity Cardio Enterprise の概念図

循環器領域の診断・治療に必要な画像データや検査情報、解析データを一元的に集約・管理



Centricity Cardio Enterprise の主な特長

- 1. 血管撮影装置、心エコーなどの複数の画像診断装置に対応、カテ記録やエコー計測値などの検査結果も自動取得して一元管理**

CT や MRI、アンギオ装置、核医学診断装置、心臓用超音診断波装置、カテラボ、心電計などの多彩な循環器検査装置に対応。カテラボや心臓超音波診断装置などをネットワークで接続し、検査結果(数値データ、波形データ、使用材料など)を自動的に取得してデータベースに格納できるほか、CT や MRI、アンギオ装置などの画像データや照射録を取り込み、同じデータベースで一元管理可能です。
- 2. 心機能解析や狭窄解析分野で主要な解析・計測ツールを搭載**

冠動脈の狭窄を定量的に解析する QCA(定量的冠動脈解析)や左心室の運動機能を定量的に解析する QVA(定量的左心室機能解析)といったカテーテル検査における解析ツール(Medis 社 QAngio)や、エコー計測ツールがオプションで搭載可能です。
- 3. ネットワーク経由で院内のどこからでも必要なデータにアクセス可能、患者さんの安心感向上にも貢献**

これまで画像や検査データの閲覧には専用の端末を個別に揃える必要がありましたが、**Centricity Cardio Enterprise** ではネットワーク上に各種データを一元的に保存するシステムを採用、検査・処置室や病棟、医局など院内のどこからでも必要なデータにアクセス可能です。その結果、撮影画像や検査結果を表示しながら患者さんとコミュニケーションできるようになるため、患者さんの安心感の向上にも貢献すると期待されています。

当社は循環器部門向け IT ソリューションとしてこれまで、画像サーバー「Centricity Cardiology Image Server」、専用画像解析ワークステーション「Centricity CA1000」、統合データマネジメントシステム「Centricity Cardiology Xi²」を提供してきました。また循環器部門以外では、高機能 PACS「Centricity」シリーズやレポートシステム「Centricity i³」などの読影ソリューション、統合参照ソリューションである「Centricity CDS」など、多彩な医療用 IT ソリューションを大学病院などの大規模病院から中・小規模病院まで幅広い医療機関に導入しており、大規模施設では約 15%のシェアを有しています(自社調査)。

加えて昨年 3 月には、クラウドコンピューティングを活用した医療用画像のデータホスティング・サービス「医知の蔵(いちのくら)」(<http://www.ichino-kura.jp>)の本格運用を開始、4 月には国内で初めて(自社調査)薬事認証を取得したモバイル PACS「CRMA」を導入するなど、診断・治療の質の向上、および画像データのセキュリティ強化や病院経営の効率化につながる医療 IT 製品やサービスを相次ぎ市場投入しています。

当社は今回の **Centricity Cardio Enterprise** の発売にあわせて、循環器部門向け IT ソリューションに携わる陣容を拡充し、現在当社の IT 製品を導入中の医療機関のアップグレード需要を取り込むほか、アンギオ装置や超音波診断装置など当社の循環器向け製品と連携強化を図りながら中小病院の循環器部門や循環器専門病院の買い替え需要を主対象に積極的に販売します。

当社はこれからも医療機関のニーズに細やかに対応できる多彩な医療 IT ソリューションの導入を通じて、日本が今後直面する超高齢社会に不可欠な在宅医療や地域医療連携、遠隔医療などをサポートし、「人にやさしい、社会にやさしい」医療の実現に貢献することを目指します。

製 品 名: Centricity Cardio Enterprise (CCE)
 発 売 日: 2013年2月15日
 初年度国内販売目標: 10システム
 医療機器認証番号: CCE に含まれる Centricity Cardio Imaging (CCI)
 セントリシティ・カーディオ・イメージング/ 224ABBZX00144000 号
 Centricity Cardio Workflow (CCW) は認証対象外

その他、本資料に記載された装置の製品名/薬事販売名/医療機器認証番号は以下の通り

製品名	薬事販売名	医療機器認証番号
Centricity CA1000	アドバンテージ CRS2 類型"セントリシティ 1000"	20900BZY00948000
CRMA	セントリシティ・ラジオロジー・モバイル・アクセス	224ACBZX00006000

- Centricity Cardiology Image Server、Centricity Cardiology Xi²、Centricity i³、Centricity CDS、医知の蔵は薬事対象外

GE ヘルスケア・ジャパン株式会社は、ゼネラル・エレクトリック(GE)のヘルスケア事業部門である GE ヘルスケアの中核拠点の 1 つとして、先端的な医療技術ならびに医療・研究機関向けの各種サービスを提供しています。医療用画像診断からライフサイエンス(生命科学)まで幅広い分野にわたる専門性を駆使しながら、GE の世界戦略「ヘルシーマジネーション」で掲げる「医療コストの削減」「医療アクセスの拡大」「医療の質の向上」の実現に向けて、国内外の医療・研究施設を中心に革新的な製品やサービスをお届けしています。主要取扱製品は、CT(コンピューター断層撮影装置)、MRI(磁気共鳴断層撮影装置)、超音波診断装置、医療用画像ネットワーク、メディカル・ダイアグノスティクス(体内診断薬)、生体情報モニタ、液体クロマトグラフィー装置、細胞解析装置。2013 年 1 月 1 日現在の社員数は 2,130 名、国内の事業所数は 55 カ所。

ホームページアドレスは www.gehealthcare.co.jp (ライフサイエンス統括本部: www.gelifesciences.co.jp)。

お問い合わせ先
 GE ヘルスケア・ジャパン株式会社 コミュニケーション本部
 プランチャード美津子 / 松井亜起
 Tel: 0120-202-021 Fax: 042-585-5360
 Mail: mitsuko.blanchard@ge.com / aki.matsui@ge.com